

船舶事故等調査報告書

平成27年2月26日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2014長第93号
事故等種類	乗揚
発生日時	平成26年8月22日 00時20分ごろ
発生場所	長崎県五島市奈留島 ^{しおいげぼな} 汐池鼻北東方沖 五島市所在の遠見 ^{とほめ} 三等三角点から真方位045°2,000m付近 (概位 北緯32°51.1′ 東経128°57.9′)
事故等調査の経過	平成26年10月7日、本事故の調査を担当する主管調査官（長崎事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報	
船種船名、総トン数	漁船 第一喜久丸、19トン
船舶番号、船舶所有者等	NS2-24079（漁船登録番号）、有限会社喜久丸水産
乗組員等に関する情報	船長、一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定
死傷者等	なし
損傷	左舷船体中央部に破口、ビルジキールに破損、プロペラ翼に曲損
事故等の経過	本船は、船長ほか9人が乗り組み、船長が操船して手動操舵により汐池鼻北東方沖を北進中、船の進行方向を確認するためGPSプロッターを見たところ、陸岸に接近していることを知り、慌てて減速し、後進をかけたが、平成26年8月22日00時20分ごろ汐池鼻北東方沖の浅所に乗り揚げた。 本船は、後方を航行していた僚船に救助され、同船に伴われて自力で五島市の浦漁港へ向かい、造船所へ上架された。
気象・海象	気象：天気 小雨、風向 南西、風速 約1m/s、視界 不良 海象：波高 約1m、潮汐 低潮時
その他の事項	本船の本事故当時の喫水は、船首約2.0m、船尾約3.0mであった。 船長は、レーダー及びGPSプロッターを作動させていたが、本事故直前まで、それらの画面をよく確認していなかった。
分析	
乗組員等の関与	あり
船体・機関等の関与	なし
気象・海象等の関与	あり
判明した事項の解析	本船は、視界不良の状況下、汐池鼻北東方沖を北進中、船長が、船位の確認を適切に行っていなかったことから、汐池鼻北東方沖の浅所に接近していることに直前まで気付かず、GPSプロッターを見て陸岸に接近していることを知り、減速し、後進をかけたものの、同浅所に乗り揚げたものと考えられる。

原因	本事故は、夜間、本船が、視界不良の状況下、汐池鼻北東方沖を北進中、船長が、船位の確認を適切に行っていなかったため、汐池鼻北東方沖の浅所に接近していることに直前まで気付かず、同浅所に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。
参考	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 <ul style="list-style-type: none">・レーダー及びGPSプロッターを活用して、船位の確認を行うこと。